



命 ひびき合い

6月22日 日曜参観・教育講演会 ありがとうございました

授業参観 ～ふれあい道徳～

学校・家庭・地域が共に考えることができる道徳教育の推進のために、全学級で道徳の授業を公開しました。各学級のねらいは、以下の通りでした。

- 1の1 自分の目標に向かって一生懸命に努力しようとする意欲を育てる
- 2の1 善悪を判断し、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる
- 3の1 正しいと思ったことは、自信をもって行う態度を育てる
- 4の1 自分の生まれた日、名前の由来、家族の思いを知り、命を大切にすることを育てる
- 5の1 よりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる
- 5の2 お互いを思い、高め合うような友情を育てる
- 6の1 相手の立場に立った思いやりの心を育てる

どの学年の子ども達も、先生の話をよく聞き、自分の考えを書いたり発言したりしていました。せつかくの機会ということで、子どもたちが保護者の皆様と交流をする姿も見られ、心が温かくなりました。

今後も、子ども達の発達に合わせた題材を用いながら、豊かな人間性の育成に取り組んでいきたいです。



1年 役割演技を通して考えています



5年 考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしています

教育講演会 「心がかぜをひくとき」 ～安心感と自立～

吉村春生先生(西九州大学非常勤講師・佐賀県医療センター好生館看護学院非常勤講師・公認心理士・臨床心理士)をお招きして教育講演会を行いました。

揺れる子どもたちの心の状況や背景、心のエネルギー(安心感)を育む方法等について、ユーモアを交えながらご講演をいただきました。そもそも人間は不安な生き物であり、無意識的に行っている言葉による行為(ありがとう 名前を呼ぶ 挨拶等)や身体的行為(握手、手当て、おんぶ等)により、不安感が安心感に変わっているということや、評価のない世界でありのままの存在を認めてもらうことで安心感を育むことができるといったお話があり、とても参考になりました。これからも、学校・家庭・地域の中で、子どもたちが夢中になって遊んだり学んだりすることができるように、学校も子どもたちにとって安心できる場となるようにしていきたいとあらためて思いました。

80分の講演があつという間に過ぎていき、保護者の方からも「もっと聞きたかったです」「また吉村先生をお呼びしてください」といった声が届きました。吉村先生、ありがとうございました。

保護者・地域の力を感じた三日間！！

①鹿島市懇親球技大会

6月15日(日)、西部中学校で、市PTA懇親球技大会が行われました。大会では、練習(4日、11日)のように、お互いに声を掛け合い、終始和やかな雰囲気です試合が進みました。試合を重ねるごとに北鹿島のチーム力もアップし、応援にも力が入りました。

②北鹿島小学校 PTA 懇親ミニバレー大会

6月22日(日)、午後からは、学年対抗ミニバレー大会でした。6年ぶりの開催とあり、どれだけの参加があるかな？と思っていましたが、なんと、びっくりするくらいの参加率！たくさんの笑顔と歓声に包まれ、大盛り上がりでした。優勝は4年生チーム。お母さん、お父さんが頑張る姿に、子ども達も嬉しそうでした。

③北鹿島地区子ども会連絡協議会 球技大会

6月29日(日)、梅雨が明け、暑い中に地子連ドッジビー大会がありました。これも、多くの子どもたちと保護者の皆さんが参加されていました。地区対抗とあり、普段とは違う子どもたちの姿を見ることができました。特に、4年生が「集まって！」「次〇〇さん出てね」等、下級生をリードする様子は、とても頼もしく見えました。優勝した乙丸地区(1～4年)、三部・常広・新籠地区合同チーム(小5～中3)の皆さん、おめでとうございます！

三週にわたってのPTAや地域の活動でした。お世話をしてくださったPTA役員の皆様、子ども会のお世話係の皆様、協力してくださった保護者の皆様、すべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。こんな素敵な大人に囲まれ、子どもたちはすくすく育っているのだと実感した三日間でした。

5年生 ふるさと会の皆様と田植え体験をしました

6月27日(金)、5年生は田植えを体験しました。

今年は、田植えの前に、五ノ宮神社の宮司様(宮崎春己様)が、「田植えの成功」「児童の作業安全」「稲の豊作」を願ってお田植え祭を行ってくださいました。昔から伝わる伝統的な行事に、子どもたちも神妙な面持ちで参加をしていました。

その後、北鹿島ふるさと会 会長 宮崎憲治様から田植えについての説明をしていただき、活動をスタートしました。「苗3本を同じ間隔で植えて」等、ふるさと会の皆様から指導を受けながら、子どもたちは泥んこになりながら黙々と作業を頑張りました。

米作り体験ができるのも北鹿島ふるさと会の皆様のお陰です。活動を通し、北鹿島の農業、自然を学び、やがて北鹿島愛(鹿島愛)が育っていくことを心から有難く思います。



☆輝く北っ子 入賞おめでとう

◆第32回 丸岡文化財団 一筆啓上賞 2024年テーマ「願い」

住友賞 3年 大隈 千代さん

【せんそうをしている人へ】

せんそうをやめて。火は、ミサイルやばくだんではなくりょうりや花火で人をえがおに。

